

---

# ブラックサンタ参上

福耳の犬

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ブラックサンタ参上

### 【Nコード】

N8009I

### 【作者名】

福耳の犬

### 【あらすじ】

悪い事ばかりしている良平。クリスマスの朝に目覚めた

良平に起こった出来事とは？ブラックサンタとは？

ガサガサガサ・・・見つけた・・・では、これは貰っていくぞ。

黒い 大きな影はそこを立ち去って行った。次へ またその次へ・・・

12月25日の朝、良平は目を覚まし枕元に目を見やった。「ん・・・

」

「落ちたかな・・・」昨日寝るまでやっていたゲーム機がない。良平は

目覚めにゲームをやるのが日課だった。とはいうものの、そのゲーム機は

良平のものではない。クラスの気の弱いヤツからむりやり借りている物だった。

2

ベットから立ちあがりゲーム機を探す。「なんだ コレ・・・」

ブラックサンタ参上 オマエは悪い事ばかりしている。オマエの大事な

ゲーム機はオレが貰って行く 「ん！ん！なんだと・・・糞バカ野郎。」

良平は壁を蹴飛ばした。「痛ってえ〜」 壁にはクギが頭を出しており

横に小さな紙に ブラックサンタ参上 ざまあみる と書いてあつ

た。

腹立つなあ・・・とはいうものの怒りをぶつける先が無い。

良平はメシを食べに階段を降りる。が んん・・・玄関横の鏡に映る姿が・・・

「クッソ馬鹿野郎」ドン・・・壁を殴る。

良平の額には ブラックサンタ参上 と書いてある。

頬には アノ マークも書いてある。近くのフキンで拭くがとれな  
い。

「油性マジックか・・・」さすがに怒りも通り越し顔の心配をする。

「顔を洗うか・・・」洗顔フォームを手につけ顔をこする。「あっ」  
遅かった。

顔に着く瞬間刺激臭がした。中身は母親の白髪染めだった。

目を強くつむり風呂場の石鹸を手探りで探し、顔を洗う。

「こいつクドいな・・・」良平は心の中でつぶやき顔が綺麗になるま  
で擦る。

顔は赤くなりヒリヒリする。 そっいえば浩太の顔に面白がってみ  
んなで書いたな・・・

1週間前の出来事を思いだす。浩太とは幼馴染だったが何でも器用

にこなす

浩太に嫉妬してイジメていた。顔を擦りながら良平は「浩太に悪い事していたな」

と、いつしか思う様になっていた。その日、良平は浩太に電話し「今まで悪かったな・」

と謝っていた。その後は何事も無く1日は過ぎていった。

夜になり「良平〜風呂入りなあ〜」階下から母親の声が出た。

「オウ」良平は風呂に向かう。結局1日どこにも出かけないままの

良平はジャージを脱ぎだした。「ん・ん・ん〜（怒）（怒）（怒）」

パンツには「ブラックサンタ参上」の文字が……………

あわててパンツを脱いだ良平の目には股間に書かれたかわいい

《象さん》の姿が映っていた。

(後書き)

絵本にしたいな。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8009i/>

---

ブラックサンタ参上

2011年10月6日05時28分発行